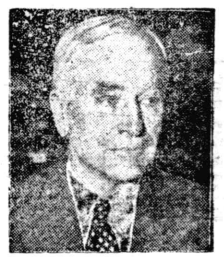
ブラジル朝日新聞
（聖日伯新聞）
伯國聖市マエストロ・カルチン街一一〇丸
發行所
ブラ朝日新聞社
本紙定價年六十ミルレス
郵便税共百廿ミルレス

コロムビア
マークと共に
奇蹟の響れっこ

英米合作の交渉めぐり
ハル長官、苦しい答辯
記者團の鋭鋒に煙幕張る



【ワシントン廿日同盟】英米合作交渉に關するバトラー英外務次官の下院聯邦は時節柄米國各方面の注目を惹いてゐるが、ハル國務長官は一日の定例會見で記者團の質問がこの問題に集中されたにも拘らず、極めて慎重な態度を持し多くを語ることを避けた、即ち記者團が

英米交渉には對日輸出制限乃至禁止強化に關する英米協力の可能性が協議されてゐるか

との質問があつたのに對し、ハル長官は確認を與へず、さらに記者團から突つこんだのに對しても明答を避け

英米交渉は余が前にも述べた通りならんの示唆要請乃至は決意を含むものでない

と曖昧な返答を行つた、これに對し記者團から

それでは一體なにが協議されるのか

と重ねて追及したところ、ハル長官は何でも一切のことを協議すると苦しい答辯を行つた、次いでハル長官は米國が輸出許可制による對日輸出制限の擴大につき英國と協議した事實はないと述べ、米國が或種の石油輸出を制限したのは米國獨自の方針に本づいたもので、英國をして米國と同樣の措置をとらせる取極め或ひを協定を作るなどは全然考へてゐないと語つた

未曾有の重大危局
わが言論界頗る愼重

【東京十日】獨IO所報、日本の輿論は現下の國際情勢の推移特にアメリカの對極東政策に關し深甚の關心を示してゐるが、情勢の重大化に實論界の論調は頗る慎重振へ目である、たゞこの中にあつて東日は「日米關係は未曾有の危局に立つた」と述べ、國民新聞は「既支英國人および米國人の引揚げは漸進的ながら英米帝國主義の退却開始といふ喜ばしい前兆である」と論じまた讀賣は次のごとく述べてゐる

明に鑑みてもアメリカの對日壓迫は主として經濟制裁にあると見られ、アメリカは經濟封鎖によつて容易に日本の國防力を減じ得るよう信じてゐるが、これに對しては日本は更に一層國防力擴充をもつて答へるだけである

わが冷靜振り反映
米紙の興奮も下火
一觸即發の危機去る

三國同盟の締結は情勢を一變した、英國は遂に米國の抱込みに成功したものゝ如くだが、兩國とも實効ある手段は遂行できず、たゞビルマルート再開と極東在留米國民の引揚げによつて日本威嚇のゼスチュアを示したに過ぎない、米海軍筋の乘組員の訓練不足といふ聲

【ニューヨーク十一日同盟】ルーマニア進駐を命ずるに至つた、かくて東亞に對する列强の態度は劃然截別せられるに至つたが、帝國は斷乎不動の決意をもつてこれに對處し、皇軍もまた凡ゆる事態に備へて着々予定の計畫を一貫進捗せしめつゝある、即ちわが陸軍航空部隊は五日友好裡にハノイ飛行場に進駐、地上部隊これに應じて佛印側との約定に從ひ各地に進み今後いかなる事態にも直ちに對處し得る態勢を確立するに至つた

最近の情報によれば重慶側地域における物資の缺乏、物價の昂騰、資金の衰退は法幣の暴落と皇軍の連續爆擊及び國際情勢の重大變化などにより益々惡化の一路を辿り、上層下層の民衆を通じて根强き厭戰和平氣分が底流しつゝあり、本週皇軍は中支第三戰區一帶において蠢動を開始せんとした敵中央軍及び新四軍の機先を制して猛然大攻擊を展開各部隊相呼應して蕪湖東方地區及び杭州西方天目山々脈方面に壯絶なる殲滅戰を敢行、森田、之桝、田中、小野、河村、岡部の陸空軍大擧してこれに協力し秋晴れの江南の野に空陸一致赫々たる戰果を擧げ、北支方面では山東省南部の山岳地帶を木村、茅倉、三野、折田各部隊が共産第八路軍を急追とれを粉碎した

民間飛行場を擴張
米、國防豫算に計上

【ワシントン十日同盟】ルーズベルト大統領は十日三億二千八百万ドルに上る國防計畫關係豫算案に署名した、右豫算のうち主なるものは民間飛行場二百五十の新設を含む飛行場整備擴張費四千万ドルである

【ニューヨーク十一日同盟】東關係ニュースで第一面を飾つてゐるが、それでも前日に比すれば大分穏かさを見せてゐる、殊に東京電が日本側は滿蒙公路再開聲明にもさしたる興奮を見せず、これのみでなく日本の立場をとり、かつ米政府の極東在留民引揚げ勸告についても日本當局が諒解するに苦しむとの態度を示してゐる旨を述べてゐるので、これが少からず米國側の興奮を鎮めるに役立つた模樣で、ニューヨーク・タイムスは、「東京は危機を認めず」と大見出を掲げ、他の諸紙も前日極東情勢が一觸即發の危機に到達したかのごとき口吻を示したのに比し格段の相違を示してゐる

援蔣ルートを抑へ
蔣政權潰滅の鐵槌
皇軍、江南に淸掃戰展開

【南京十一日同盟】支那派遣軍報道部發表、十月五日以降本日までの支那事變情勢の概況左の如し

皇軍の佛印進駐と日獨伊三國條約成立は重慶側及び世界舊秩序圏にある第三國側に大衝動を與へたが、英國側は遂に來る十七日の期限滿了をもつてビルマ・ルート再開の意ある旨を正式に表明し、米國もまたこれに呼應し極東在留米國人の强制總引揚げを命ずるに至つた、即ちわが陸軍航空部隊は五日友好裡にハノイ飛行場に進駐、地上部隊これに應じて佛印側との約定に從ひ各地に進み今後いかなる事態にも直ちに對處し得る態勢を確立するに至つた

最近の情報によれば重慶側地域における物資の缺乏、物價の昂騰、資金の衰退は法幣の暴落と皇軍の連續爆擊及び國際情勢の重大變化などにより益々惡化の一路を辿り、上層下層の民衆を通じて根强き厭戰和平氣分が底流しつゝあり、本週皇軍は中支第三戰區一帶において蠢動を開始せんとした敵中央軍及び新四軍の機先を制して猛然大攻擊を展開各部隊相呼應して蕪湖東方地區及び杭州西方天目山々脈方面に壯絶なる殲滅戰を敢行、森田、之桝、田中、小野、河村、岡部の陸空軍大擧してこれに協力し秋晴れの江南の野に空陸一致赫々たる戰果を擧げ、北支方面では山東省南部の山岳地帶を木村、茅倉、三野、折田各部隊が共産第八路軍を急追とれを粉碎した

トピック解剖

獨、ルーマニア進駐の意義

ドイツ側では今回のドイツ軍ルーマニア進駐は單に重要工業地帶の護衛のためであつて、決して領土をどうするの政治をどうするといふのではないといふ、從つて駐兵期間はそれを必要とする間といふことになつてゐると稱してゐる、またルーマニア政府もこの點を是認し、重要工業保護のため不足を感ずる兵力に對しドイツの助力を仰いだのみといつてゐる、然るにルーター通信などは、ドイツ今次の進駐は、言を石油工業保護に藉りて、實はルーマニア國軍の再編成を企てたものであり、從つて政治的推進力を多分に有つものであるとして、獨軍の進駐が頗る意味深きものである點を示唆してゐる、更にハンガリアはルーマニア内の自國民の地位につき、獨軍進駐の影響を予想して強ち釘をさしその保證を求めてゐるかやうにして、獨軍のルーマニア進駐はドイツがいかに言辭を飾るとも、關係列國から見れば明かに、ルーマニアを政治的支配におく意圖あること疑ひなく、これはドイツがルーマニアをバルカン制覇の、近東英勢力排擊の足場とする必要上當然とらるべき手段であらう、イギリスはこの點においても完全に負けた、バルカンを爭ふ勢力は今後ドイツとイタリアとソ聯と、この三つとなるは明かである

ドイツ軍トルコに進むか

ドイツは更に歩を進めて、ルーマニアおよびブルガリアを通じトルコに兵を進める計畫であると、ブカレストUP電は報じてゐる、ベルグラード十日發のUP電は更に、ダニウブ河口湾に移しき獨軍の移動を見つゝある、一隻二百乃至二百五十の將兵を乘せた汽艇が五乃至六隻づつ集團をなしてダニウブ河を下りつゝあると傳へてゐる、トルコは元來英國側に傾いてゐたものこの向背はイギリスの近東勢力、獨伊のバルカン制覇に決定的なものとして、英獨伊とも必死となつてこれが引込みに狂奔し、ソ聯もまたトルコを掌中に納むるに至れば、イタリアはギリシヤを衝き、ソ聯はイラク、イラン方面からイギリスの近東勢力圏をつくは必至、かくして英帝國は英本土攻略よりも以前に、その外廓から徐々に崩壊が始まるではないかと思はるゝに至つた

米の對日經濟壓迫
禁輸品を更に擴大
早晩日本生糸も閉め出しか

【ニューヨーク十日同盟】U・P通信によればアメリカ政府は近く日本向け禁輸品目中に工作機械類或ひは銅ならびに自動裝置機械類などを追加することになりろいはれる、工作機械類の禁輸措置はこれらの品目に輸出許可制を適用し、一定地域に對する輸出に許可を與へないといふ形式をとるものと見られる、米政府はまた日本生糸の輸入禁止について慎重に考慮中といはれる

米國が目標だが
挑戰行爲は採らぬ
松岡外相、三國同盟の眞意聲明

【ロンドン十日】アバス所報ロイテル東京電によると本日松岡外相はビルマ・ルート再開と三國同盟の關係につき說明して大要次のごとく述べてゐる

ビルマ・ルート禁絶に關する日英協定は日支和平提案などと何ら關聯はない、ビルマルートを再開して蔣政權の抗日を援助しながら極東平和を望むなどいふのは英政府の自家撞着である、日獨伊三國同盟は明かにアメリカに對し向けられたものであるが、決してアメリカに反對するものでなく、結局平和を目的とする同盟である、米國或ひは他の中立國が歐洲戰に捲き込まれ從つて日本と戰ふことゝなるなど考へたゞけでも戰慄に値することであらう

日米關係惡化望まず
だが獨伊側では充分の覺悟
ローマ消息筋の觀測

【ローマ十日】UP所報、消息通筋ではビルマルート再開し新しい敵日本を作らぬ方が好まはビルマルートを再開して參戰することゝなり、これは樞軸側として不本意なことだとしてゐる模樣である、尤も三國同盟締結に當つて獨伊側は日本に一旦緩急あればこれを援助すべきことは豫め覺悟

日獨伊國旗を飾り
さながら樞軸デー
ム首相ファシスト青年團閲兵

【バドア＝北イタリア十日同盟】五日間にわたり北イタリア方面を視察したムソリニ首相は十日當地スタヂウムにおいて約二万四千のファシスト青年團を閲兵した、會場は日獨伊三國々旗で美しく飾られ、わが天羽大使、マツケンゼン獨伊獨大使をはじめスペイン、ブルガリア、ルマニア、ハンガリー各國大使も出席、恰かも樞軸デーの觀を呈したが、新聞はこの閲兵式をもつて近い將來職局に重大發展を見るべきを示唆したものだと書き立てゝゐる

英、懷柔策に失敗
ルマニアを見限る
兩國々交斷絶の危機

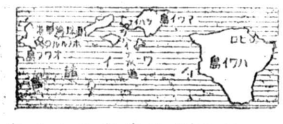
【ブカレスト十日同盟】獨軍進駐以來、英國・ルーマニア國交關係は急テンポに惡化しつゝあるが、傳へられるところによれば英國大使館當局は十日遂に秘密文書の燒却を開始したといはれ、英・ルーマニア國交はも早や斷絶のやむなき段階に立到つたものと見られる

防備急ぐカナダ
太平洋岸に防衛司令部

【オツタワ十日同盟】米國と兩岸の防備を急いでゐるカナダのブリイテシユ・コロンビア、アルバート兩州を包含する太平洋岸防衛司令部を新設しアレキサンダー少將をその司令官に任命した旨十日國防相より發表された

第四十二次
重慶空爆

【〇〇基地十日同盟】海軍航空部隊は十日午後二時第四十二回重慶攻擊を敢行、同地周邊の各飛行場を銃爆擊したほか重慶北方北碚新村の敵殘存



米、極東情勢に對處
ハワイに高射砲隊增遣
スチムソン陸軍長官發表

【ワシントン十日同盟】獨軍進駐以來、英國・ルーマニア國交關係は急テンポに惡化しつゝあるが、傳へられるところによれば英國大使館當局は十日遂に秘密文書の燒却を開始したといはれ、英・ルーマニア國交はも早や斷絶のやむなき段階に立到つたものと見られる

抗州灣岸の
殘敵を掃蕩

【臨安十一日同盟】八日杭州西方五十キロの臨安を占領した伊藤、佐々木、鍋島、堅野青木の諸部隊はその後引續き敵を掃蕩、十日午後五時四十五分臨安南方三十キロの新登を完全に占領した

わが在英銀行會社
一齊引揚げ斷行
外務省から指令

【東京十日同盟】英國におけるわが銀行會社は、大阪商船が同社歐洲航路の休止とともに引揚げを行つたもので、正金、日銀等各銀行會社はなほ止まつて業務を行ひつゝあつたが、政府では十日外務省より在英支店、出張所を有する各社に對し引揚げ命令を發するよう勸告、これにより各社は國庫事務を行ふ正金を除き殆ど全部引揚げを斷行することとし、この旨在英各支店に指令を發した

聖ポール寺院
獨彈の洗禮

【ロンドン十日同盟】英空軍省當局の言明によれば十日未明獨機のロンドン空襲に際しセント・ポール寺院に爆彈が命中、同寺院東端の聖壇の屋根を大破したほか招待席も破壞されたと

獨空海軍戰果

【ベルリン十日同盟】獨軍司令部發表

一、わが潜水艦は九日敵武裝商船二隻總噸數一萬七千トンを撃沈した

一、他方わが空軍は四千トン級の敵船一隻を撃破し、火災を起さしめた

一、九日中の敵機撃墜數は十機であつた

結核豫防治療に
X-O
郵函 375 社伯日
郵函 2012 聖市 會商原
取次所
發賣元

錦旗の下大觀艦式
畏し・勅語を賜はる
全海軍將兵ら恐懼感激

濱港沖において壯大かつ嚴肅に擧行された

【東京十一日同盟】天皇陛下には十一日の紀元二千六百年特別大觀艦式にあたり、長くも全海軍に對し左の勅語を賜はつた

勅語

朕紀元二千六百年ニ際シ茲ニ觀艦式ヲ行ヒ親シク其ノ軍容ノ齊整ニシテ士氣ノ旺盛ナルヲ觀深ク之ヲ嘉ス今ヤ世局ノ騷亂甚シク帝國ノ使命益々重大ナルトキ國軍ノ精强ヲ要スルコト愈々切ナルモノアリ爾等倍々奮勵シ協心戮力朕カ股肱タルノ本分ヲ竭シテ天壤無窮ノ皇運ヲ扶翼セヨ

【東京十一日同盟】紀元二千六百年慶祝海軍特別觀艦式はかしこくも大元帥陛下の行幸を仰ぎ奉り菊花香る今日十一日聯合艦隊旗艦長門以下巨艦百余隻、海の荒鷲五百余機の參加により本平洋に連なる

讃へよ・二千六百年
海に空に皇軍の精鋭
横濱沖は宛ら軍國大繪卷

【横濱十一日同盟】佳き年を壽ぎまつる紀元二千六百年記念觀艦式は秋晴な十一日長くも大元帥陛下の御親閲を仰ぐ横濱沖において盛大嚴肅に擧行された、波荒き太平洋を護る聯合艦隊の旗艦長門以下百有余隻が海を壓すれば海の荒鷲五百有余機は銀翼を輝かせ空を蔽ひ、眞に皇軍の威容である

横濱内外の拜觀所を曉かけて埋めつくした民草は沖合ひの盛儀を淺かに拜し、擧げて感涙に滿ちあふれた、この朝八時五分大元帥陛下には海軍樣式御軍裝を召され、蓮沼侍從武官長御陪乘、松平宮相、木戸内府、百武侍從長以下を從へさせられ略式自動車御輦にて宮城を御出門、同十五分東京驛御發、同九時横濱臨港驛に御着、伏見軍令部總長宮殿下をはじめ寺り、及川海相、山本觀艦式指揮官、鹽澤横須賀鎮守府司令長官の奉迎をうけさせられ、君が代奏樂裡に同九時三分お召艦橋より御召艦に乘御御召艦比叡をはじめ供奉艦ならびに參列各艦より一齊に發する皇禮砲(殷々)と轟き渡るうちを比叡に向はせられ、比叡艦長以下總員萬歲奉唱裡に、陛下には右舷梯より御乘艦遊ばされ御座所に入御、高松宮、閑院若宮、伏見元帥宮、久邇宮、朝香大將宮、竹田宮各殿下に御對面遊ばされたのち、畏くも及川海相、山本觀艦式指揮官、鹽澤横鎮長官に單獨の禮を行ひ、陛下萬歲を三唱拜謁、ついで文武百官にも一斉拜謁を賜り、同九時四十分再び參加各艦に皇禮砲が轟く時小澤中將を總指揮とする海軍五百有余機は秋空を蔽ふて飛來、第一集團戰鬪機、攻擊機、爆擊機、第二集團水上偵察機、飛行艇は東より式場に進入、觀艦式は最高潮に達した、第一列より番外列まで六列に整然として威容を誇る各艦は御召艦御通過に當り、艦長以下總員答舷の禮を行ひ、陛下萬歲を三唱し奉れば、陛下には畏くも前艦橋に出御、山本觀艦式指揮官の奏上する參列艦長、司令以上の艦氏名を聞召されつゝ各艦に御會釋を賜ふ、かくて御召艦は各列艦艇前面を進行して午前十一時式場錨地に投錨、陛下には御座所において御召艦に集合した參加司令官艦艇長に謁を賜はり、やがて同十一時五十分伏見軍令部總長宮、及川海相、山本觀艦式指揮官その他將星ら(肅然)と整列する後部中部甲板式場玉座に出御、玉音

燦たる錦旗拜し
光榮の極み
山本指揮官の談

【東京十一日同盟】山本特別觀艦式指揮官は語る

不肖このたび光榮ある觀艦式指揮官を拜命し、本日麾下の各艦各旗がかしこくも大元帥陛下御賜閲の光榮に浴し、さらに優渥なる御勅語を賜りましたことは達に有難き極みで御座います、參加部隊全將兵は齊しく金色燦然たる錦旗を拜して士氣益々揮ひ、愈よ聖旨を奉

獨軍一ヶ年の戰果
船舶撃沈五百萬噸、撃墜七千機
損失は千機

【ベルリン發】戰爭一周年に當りドイツDNB通信社の發表によればドイツ軍一ケ年の戰果は左の如し

一、過去一年間の獨側戰死傷者數は戰死三万九千、戰傷十四万三千、行方不明二万四千である、これを一九一四年第一次歐洲戰における獨軍死傷五十八万、更に一九一八年西部戰線激戰廿日間における獨軍の損害九十七万四千名に比すれば雲泥の相違である

一、空中戰で撃墜した敵飛行機三千台、地上爆碎三千八百五十台、合計六千九百五十台、獨空軍の損害は一千五十台

一、開戰以來二百廿日間に獨空軍は三千五百回の空襲を行ひ、爆彈五百万個總計五万五千トンを投下した

一、ドイツ海空軍が開戰以來本年七月卅一日までに撃沈した船舶は四百九十八万六千八百六十トン、その内爆撃機によつて撃沈した敵商船は五百隻以上總計二百万トン、また爆撃機によつて大損害を受けた敵艦船は約七百隻總計三百五十万トンに達してゐる

一、ドイツ砲兵隊が破碎した敵戰車は四百台以上、撃沈した敵艦船は四隻、大損害を與へた艦船は卅隻以上に達してゐる

一、開戰以來敵陣深く延キロ行ひ、偵察した飛行士は十名あり、また單機よく敵三百台以上を撃墜した飛行士は二名もある

"たゞ實行あるのみ"
日ソ親善には柔い氣持で
建川大使鹿島立つ

【東京十一日同盟】建川新駐ソ大使は西公使および宮川參事官帶同十一日午後三時東京驛發赴任の途についたが、大使は出發に先立ち同日午前目黒の自邸で左のごとく所信を語つた

日獨伊同盟の成立によつて政府の外交方針が轉換したのだからその線に沿つてやるばかりである、たゞ實行あるのみだ、新らしい情勢に對處して外交々渉を試みるのだから先づ氣分が變らねば親善の實は結べない、柔らいだ氣持でも私は行く覺悟だ

濠洲羊毛の貯藏
英側で米に委託
數量二億五千万封度

【ワシントン十日同盟】アメリカ國防委員會は政府所有の濠洲羊毛を米國内に貯藏すべき協定が成立した旨發表、貯藏數量は二億五千万封度で、その所有權は依然イギリスにあるが、事ある際はアメリカが買付けることになつてゐる

▼…ブラジルより友邦パラグアイに贈與された飛行機は今日パラグワイ首都アスンソンに到着の豫定である

▼…ヴァルガス大統領は南大河州ポルトアレグレ市二百年祭に出席のため來月同州を訪問する

▼…來月三日は一九三〇年革命第十回記念日に當るのでリオ官民有力者三千名よりなる大記念宴會が開かれヴァルガス大統領を招待する

▼バウリスタ線サン・カーロスに今日から畜産品評會が開かれる、各地からの來觀を歡迎し同地各旅館他地方からの宿泊者に三割三分の宿泊料割引をしてゐる

▼…ヴァルガス大統領は南大河州道路建設費として九萬コントの支出を承認した

▼…ジェファーソン・キャフリー駐伯アメリカ大使は去る十日紀交昇や官民有力者多數によつて催された送別の宴に招かれた、なほ同大使は來る十五日リオ發歸國の途に上る豫定である

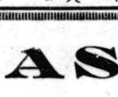
外務人事

【東京十一日同盟】本十一日左の如き外務人事が内定した明十二日の閣議で決定の上正式發令の筈とゝ觀測される

任特令全全權公使(タイ國) 石澤豊

任總領事(バタビア) 齋藤晋次

歸朝命令發せらる



▼…レオナルド・ツルグ氏を團長とする訪米ブラジル經濟使節團は目下フィラデルフィア州にあるが、同地よりニューヨークに向ひ歸國前數日間滯在の豫定である

東京手形交換所
交換高著減

【東京十日同盟】東京手形交換所調、九月中手形交換高は金額四十三億二千五百万圓と前月比三億八千万圓著減し、前年同月に比べて四千七百万圓を減少してゐる、これは市中資金制令や配給統制の强化に基因する商取引の不振を反映するものとして注目されてゐる

獨カイテル將軍
伊軍司令官就任說

【ロンドン十日】米UP所報カイロ發電報によれば獨乙軍幕僚長フォン・カイテル將軍はリビヤ方面イタリア軍司令皇禮砲が秋空に谺するとき、陸下には御汽艇に御移乘御上陸所員の奉送をうけさせられ同三十分横濱臨港驛を御發車同三時十五分東京驛御着車、龍顏殊の外御麗はしく宮城に還幸あらせられた

また〳〵兇惡テロの犧牲
傳上海特別市長刺殺さる

【上海十一日同盟】傳上海特別市長の刺殺事件は十一日午前五時頃起床直前の熟睡中を狙つて行はれたもので、隣室に寢てゐた夫人が異樣な物音に目を覺し市長の寢室に駆けつけた時は既に市長は血の海となつたベットの中で事切れてゐる、なほ犯人は内部の事情に詳しいものと見られ目下嫌疑者の行方追究中で逮捕は時間の問題と見られてゐる、傳市長は一八七一年浙江省寧波に生れ故盛千懐のボーイから身を起した立志傳中の人である

初入荷!!
セボーラ カナリア種

◆カナリヤ・アマレーラ種
◆發芽保證試驗濟
◆歐洲戰火の爲第一回少量入荷のみにてあと輸入見込みなし
◆品切せぬ内に御註文下さい

直輸入商 羽瀬商店
郵函2—A

CASA AUSONIA
RUA S. BENTO, 272 - SÃO PAULO

高尚な洋品店
アウゾニアは常に斬新で優美な内外製カジミーラを提供する唯一の店です
カーザ アウゾニア
聖市サンベント街二七二
清楚な洋服店
アウゾニアはお値段の點に於ては萬人向きで仕立は何時も念入りです

KANAKAO S. A.
肥料、農具、藥品、ニカワ
カ・ナカオ化學工業株式會社
サンパウロ市テオドロ・サンパイオ街二七五六番
郵函 二一八六番 電話 八—二五八七番
支店 イタプーラ・ミランダ街一七—一九
電話 二—六六三七番

歸國手續
迅速 正確
靜岡縣人會指定旅館
ミツワ旅館
石尾貞雄
聖市タバチンガーラ街三五電話二—三五一四

Y. Kinjo
Cirurg. Dentista
齒科醫
金城山戸
R. Christovão Colombo, 3 2.° andar
Telephone, 2-8058 - São Paulo

ELECTRA O MELHOR RELOGIO SUISSO
UNICOS DEPOSITARIOS JOALHARIA CASA CASTRO
RUA 15 DE NOVEMBRO 41 ESQ. ANCHIETA
寶石商
カーザ・カストロ
總領事館、ブラジル拓植組合、海外興業會社、各地小學校并に運動團體より御買求めの榮を賜る

各地有名藥局商店に販賣す
ヴイタミンB複合體の自然集積物としては現在の所麥酒酵母以上のものは有りません、それは日本藥局方に特に藥用には「麥酒酵母に限る」旨嚴定されて居る點を見ても分ります
健康時には「お腹が空く」「便通が素適だ」位で左程にも感じませんが病中・病後、手術後、疲勞時など召上つて御覽なさい、エビオスの持つ高き藥効が實に判然と分ります
ヱビオス・ハリバ
伯國總代理店
西谷商會
NISHITANI & CIA. LTDA.
Caixa Postal, 2748
São Paulo
Caixa Postal, 1134
Rio de Janeiro

胃腸にヱビオス
總べての胃腸藥に不滿と不信を抱かれてゐる方々は是非一度エビオスをお試し下さい、必ず我其の高き藥効に豫想外の御滿足を得らるゝ事と思ひます、此處ブラジルにても發賣後日尚淺きに拘はらずエビオスに限るとの非常な御評判と感謝の御言葉迄戴いて居ます

高き藥効
エビオスは從來の胃腸藥と違つて其の場限りの消化劑や制酸劑では御座いません、エビオス持つ活性ヴイタミンB複合體の高き藥効(寧ろ高き榮養素の効と云つた方が適切でせう)が胃腸の組織そのものを丈夫にし、然も直ちに食欲を增進させ、消化をよくして食べた物を完全に榮養化し便通をよくするものです

奇蹟に非ず

ヱビオス

苦闘六年・今ぞ輝く！

邦人のジユータ栽培

アマゾン地方視察の大統領

バリンチンスを訪問 興味深く狀況を聽取……

アマゾン地方視察中のヴアルガス大統領は去る十日マナオスにおいて同州教育局、アマゾナス劇場、博物館その他各局を訪問した、又同日飛行機でバリンチンスも訪問したがその際バリンチンス市長にアマゾニア産業研究所におけるジュータ栽培狀況を聞き深く尋ね、同所々長を招い膝を交へて語つた

なほアマゾニア産業研究所におけるジュター栽培は一九三〇年に始められ、以後六ケ年間は毎年缺損を續けて來たが、一九三七年以後やつと六ケ年の苦節が報ひられアマゾン地方に適した新種の育成にアマゾン産ジュータの商品價値に確信を得たものである、本年同地の生産高は三十トンで來年は一千トンは裕に生産出來るといはれる、又ジュターの販路は同所販賣部の手でレシフエ、バイア、ポルトアレグレ、リオ等各地にその市場を保證してゐる

（邦人の成功）

大部分は日系棉屋さんへ

産組中央會と棉……

メートル三一、二七八フアルド也

既報、棉作者懇談會席上、今後の方針として先づ棉花を取扱つてゐる産組は産組中央會と緊密なる連絡をとつて來るべきサフラに備へることゝなつたが、中央會の本年度の成績はどうであつたか、同會發表の數字によると次の通りである

繰棉

（一九四〇年九月卅日現在）

販賣繰棉總數 三、二六八、〇〇〇キロ
同金額 一、七三一、六〇〇、〇〇〇ミルレー
平均單價 四六・九三ミルレー

▲販賣總數の各組合別は

アリアンサ	三、一五九、〇〇〇キロ
アバレー	三、〇一三
バストス	七、一四一
平野	三、六二〇
マリリア	三五
パラグアスー	七、三五
チエテ	五、七四七
ペラクルス	三、〇五五
總計	三、二六八、〇〇〇

▲販賣先

日系商社	一五、〇〇〇キロ
ブラ拓棉花部	四、三三九
南部棉花	六、五七六
合計	三五、九二八
外國會社	
アンダーソン	七五三、〇〇〇
エステベ・イルモンス	八九二
ニカノル・ガルシヤ	五〇〇
總計	三、二六八

棉實

（一九四〇年九月卅日現在）

販賣棉實總數 四七、〇〇〇ペサ
同金額 一、三九一、六〇〇ミルレー
平均單價 三一・八四ミルレー

▲各組合別

アリアンサ	五三、〇〇〇ペサ
バストス	一、〇〇〇
平野	三〇、〇〇〇
パラグアスー	一七〇、〇〇〇
ペラクルス	五、〇〇〇

▲販賣先

アンダーソン	八〇、〇〇〇ペサ
マクラゾ	三八七、〇〇〇
モイニヨ・サンチスタ	五〇、〇〇〇
ソシエダーデ・インド・オ	三〇、〇〇〇
ウレオ	四七、〇〇〇
合計	
アルゴドエラ・ド・ノルテ	七五三
その他	三、四六四
合計	五、三六〇
總計	三、二六八

雨

『炎熱病』も解消か

いよ〳〵雨季入りの氣配

聖市人もホツと一安心

去る八日いよ〳〵待望の雨季入りをおのタ方から俄然雨もはせてゐる、人も昌も久しく惱まされた炎熱病もいよいよ解消される時が到來したのではあるまいかと聖市人もホツと安堵の胸をなで下してゐる

陸の精鋭總動員

全伯陸上大會

廿六日から聖市で開幕

第十一回ブラジル陸上競技選手權大會が來る二十六、二十七日の兩日チエテ倶樂部競技場で聖州、リオ、南大河、パラナ、ミナス各州の隊の精鋭を集め華々しく開幕される、なほ聖州隊聯は全伯大會に備へ十三日（日曜）豫選を擧行

銀行屋さん奥地攻勢へ

一獲千金の魅力ビツシヨ！

思ふこと皆つき當る金のこと……

「銀行はすぐにも貸すよなことを言ひ」

年一割の利子なども我々には有難い方だが、伯銀融資の七分となると勿體ない位である預る時はカマラーグ氏の二十ミルでもOK、貸す時は店のオヤヂへ百ミル出すのにも相當ヤカましく申す彼等銀行屋がノロ線のあちこちに瀰降つたことは果してお百姓さんにとつてヨカ事であるか？……リンス、プロミツソン、アラサツーバ、チエテの外に更にピリグキ、グワラペスと網を張らんとする南米、リンスとアラサツーバと兩端を持つてねばる海興、リンスに腰を据へて虎視する東山たちが、山一ツの東藤、學者の南藤、重又もときにソロバンはじいて山で搔き集めた預金の何%を借金常習者ならずとも再考ノロ線で動かしてゐるかは我々問題である、打明けて言へば、集めた金をなるべく地方で動かしてくんろといふ譯である

「フジ三ツ色とり〳〵の金を貸し」

東山の藤倉（東京）南米の齋藤（埼玉）海興の藤原（岡山）とノロ線銀行界は藤の字つくの三親分の爭覇みたいだがスポール以下を當てられ、二十八コントスが拂へず女房子供を置き去りにしてサントスへ逃げたなどの悲劇もあるこんなことで日本人の恥を曝らすのはツライことです、○持連のソシオでビツシヨ連鎖店もい〳〵商賣になること〳〵思ふが、日本人はまだ賣專門で夢を追ひその日〳〵の充奮をたしなんどる程度、とに角奥地ぢやビツシヨとビンガの味はなか〳〵忘れられんものゝ樣だ

「銀行は信用、ビツシヨは運で貸し」

輪湖老人墜をからして叫べどビツシヨは相も變らずお盛んなもので、追ひビツシヨ等で二コント、三コントスと賭けるのを見ると一寸コワクなる邦人のバンケイロも出來てきたがB驛でやつとつた坂口某さんが先日のボルコでミリヤ本當かね……金を借りてるヤセ男の間違ひちやネエか、とは言はれそうだが、大體金を借りる男は銀行の本當のお客さまで、これによつて莫大なる利子を稼ぎ出し、預金者の利子配當から紙上ビルも建つわけ、一分で借りて一割にまわし社界の富を動かす仕事の出來る男こそ銀行屋さんが敬遠を表すべきお客さんである、そして期限ともなれば窓口を札で叩いて返へす借り……

＊ ＊

「銀行で金を借りてるヨイ男」

陸に海に攻防戰！

合同大演習始まる

去る十一日午後七時を期し中央線パライーバ溪谷を挾んで陸軍大演習が行はれてゐるが、海軍もこれに呼應し參加艦艇はそれ〳〵サントス向け拔錨した、今回の陸海合同の大演習は最近十年來最初のことで海軍參加艦艇は戰闘艦「サンパウロ」をはじめ驅逐艦四隻、潜水艦三隻、水雷艇四隻、海軍機十八機で陸戰隊の上陸演習も行はれる

いよ〳〵今度こそ

野菜もお安くなりませう

奥さん方は斷然朗か

このところ聖市方面にはいよ〳〵雨季入りの兆候を多分に見せてるが、例年の三倍といふ高値の野菜軍の襲來に決然お台所を守つて孤軍奮闘する奥さん方の至誠は遂に天に通じる時が來たのかも知れない今までトンと期待外ればかりだつた「これで野菜もお安くなりませう」と今度こそ間違ひなく實現されやうと奥さん方は俄然朗らかである、野菜屋さん達も先月下旬から僅かづゝではあつたが雨、三回の降雨があつたゝめ野菜も生氣を取り戻し、そのため最近では値段も少々ばかし下向きの氣配を見せてゐた折柄、いよ〳〵雨季入りの氣配濃厚となつたから、これからは野菜もだん〳〵とお安くなりませうと値下を保證してゐる

盛んな伯國出版界

昨年度千六百余種刊行……

一九四〇年のブラジル文學い統計が出てゐる、左に轉載すると刊行數一、六一三種

一般刊行物五五、哲學三六、宗教六五、法律、社會科學、政治二八七、陸海軍並航空四三、文學、言語學一二一、一般文學書七二、研究論文三、詩六六、劇一六、小說傳記一六九、コント二四、雄辯三、子供讀物九二、數學、物理、博學七二、應用科學七五、醫學一六七、美術、競技、娯樂二〇、歷史、地理二二七

右のうちブラジルの原著數は九七六、これになほ三一六のブラジル人原著の再版を加へると壓倒的多數を占めてをり驚譯書は新刊二三一に再版物九〇に過ぎない、なほ最近最も賣れた伯國人の小說はエウリコ・ヴエリシモの「サガ」でこれは二万部を賣り盡してレコードを樹立した

重廣海軍武官

ギリエム海相訪問

過日公式訪問に來伯した海軍武官重廣中佐（亞國、伯國、智利三ケ國兼任）は去る八日工藤代理大使の案内でアルシチデス・ギリエム海相を官邸に訪問した（寫眞は重廣海軍武官）

武官重廣中佐（亞國、伯國、智利三ケ國兼任）は去る八日工藤代理大使の案内でアルシチデス・ギリエム海相を官邸に訪問した（寫眞は重廣海軍武官）

庄六（初段）宇賀山勝（同）谷口保（同）

顧問 黑島伊平治、清水安丸

市況

▼アロース 安値（十一日）高値
▼アグーヤ（上）米 五〇〇〇 六〇〇〇
▼ブランコ 一〇〇〇 一〇〇〇
▼カフエ 六〇〇〇 八〇〇〇
▼フエイジヨン 一〇〇〇 一〇〇〇

社告

左記の者御地方へ出張致して居ります故御配慮の程お願ひ申上げます

ブロミツソン尚武會新役員

先日設立されたブロミツソン尚武會では本年度役員を左の通り決定した

會長 間崎三三一
副會長 鈴木季遊
會計 田中道男
幹事 宇賀山勝
幹事 榎本菊雄、村上美代記、林田武雄
指導員 森本定七（劍道三段）合田虎雄（同二段）木村

野菜部（産組中央出張所調）

十一日

	安値	高値
▼トマチ特上（箱）	一〇〇	一二〇
▼レポーリヨ（袋）	一〇〇	一二〇
▼エルヴイリヤ（箱）	一〇〇	一二〇
▼ピメントン（箱）	一〇〇	一二〇
▼ページエン（箱）	一〇〇	一二〇
▼ペピーノ（箱）	一〇〇	一五〇
▼パタタドーセ（俵）	一〇〇	一二〇
▼ポプリーニヤ（箱）	一〇〇	一四〇
▼セノーラ（束）	一〇〇	一二〇
▼コーベフロール	一〇〇	一二〇
▼ナス（箱）	一〇〇	一八〇
▼玉子（打）	二〇〇	二八〇
▼ミーリヨ	三〇〇	三二〇
アマレロ	三〇〇	三一〇
アマレロン	三〇〇	三一〇
クリスタル	三〇〇	三一〇
▼パタタ	ノミナル	
アマレーラ（上）	六〇〇	七〇〇
ブランコ（中）	—	—
▼マンヂカ粉	三〇〇	三一〇
▼マモナ	三〇〇	三一〇
▼棉實	三〇〇	三一〇
▼アメイジヤ（上）	二四〇	二四〇
▼セボーラ	—	—
▲砂糖		
レイラード（特上）	二〇〇	二一〇
▼マンテイガ（上）	六〇〇	六一〇
▼マンテイガ（中）	五〇〇	五一〇
▼小麥粉	四〇〇	四一〇
▼珈琲	—	—
▼棉花	二〇〇	二一〇

紙函
聖市グリセリオ街七三一七六番（一四一）
長田製作所
郵函 三一〇九
電話七・二六七四番
電話七・一二六七番

急募
眞面目な日本人
運轉手
Rua José Maria Lisboa, 1119 - São Paulo

女中入用
十五才以上の方
シヤー・リベイラ
サントス支店
サントス市プラス・クリーベス街三百七拾八番電話五四八〇

CASA ALMEIDINHA
REGISTRADO
Praça da sé, 253
金物類、陶磁器、
其他家庭用品一切
豊富在店、價格至廉

寫眞
平井
FOTO-IMPERIAL
Rua Irmã Simpliciana, 120

CASA LEMCKE
S. Paulo . . R. Libero Badaró, 303
Santos . . . R. João Pessoa, 45-47
夏物白洋服
男子向各種用品
食卓、寢台用布
絨氈、入浴用品
常に優秀品を常に安價で

Cine Santa Helena
本日の映画
◆A VIDA DO DR. KOCH
エミール・ヤニングス主演
獨乙映畫
◆UFA JORNAL, 469
最も新しい大戰ニユース
午后一時五十分より連續上映
壹2$000, 1$000, 夜2$500, 1$500

Cura Tosse GOTAS JUU'
咳の妙藥
ゴツタス・ジユウ
如何なる難治の嗽でも本水藥を用ふれば効果一〇〇%たゞちどころに止まるとは一度服用された人々からの絶讃のお言葉なり
用法＝大人（廿才以上）は一日の水に六〇〇滴混合して一日五回飲む最少限度小人（廿才以下）は三滴（一才を增すごとに三滴宛量を增す
A CASA DAS FARMACIAS
Rua Carlos Gomes, 150A-156
São Paulo
R. S. Luiz, 928 MARILIA

Dr. S. Zakimi
Advogado
Tradutor Publico
C. P. 3780 S. P.
聖市
電話二一四五八
自宅五一〇二六三
座喜味法律事務所

魚鮮
坂井兄弟商會
メルカード販賣部
坂井芳信
サントス・メルカード・バンカ二五番

DIANA
レストラン・喫茶室・バール・ロチセリ・室内オーケストラ・優雅な雰圍氣
聖市に於ける唯一の安息娯樂所
夜の一時まで營業致して居ります
R. B. de Itapetininga, 111

Bar e Restaurante
Pan Americano
R. Xavier de Toledo, 47 e 51
アルモツソ・コメルシアル
ジヤンタール・コンセルト
六鈎
七鈎
午前八時より午後十一時迄營業

◎御歸國、病院、外國人登錄、鑑識手帳取得等一切御御世話可申上候
御下宿歓迎
御女中募集
ホテル八千代
佐藤蓮子
聖市コンセレイロ・フルタード三二一
電話二一三六七八 郵函一六九四

白米 カテツテ・オゾーリオ
食料油 バンニア・アリアンサ
……其他食料品一切……
弊店へ御問合せなしには
お買上げなき樣願ひます
ROMEIRO PINTO & CIA.
Rua da Cantareira, 561-575
Telephone 4-5504
Telephone 4-3628
Caixa Postal, 691
S. Paulo

御婚禮、御祝儀、お土産に
かまぼこ
惠比須屋
聖市トーマス・デ・リマ街二八三（郵函三六八）
電話 2-2194

プランタン大通り中間 コチア道の向側
エステヴアン・ロツペス街一七
歯科 古澤

Redacção e Administração:
Rua Maestro Cardim, 1109
Teleph.: 7-3325 e 7-3326 - Cx. Postal 375
SÃO PAULO-BRASIL

BRASIL ASAHI
EX-NIPPAK SHIMBUN

DIRECTOR: *José Yamashiro*

ASSIGNATURAS:
PARA O BRASIL { Anno .... 60$000 / Semestre . 30$000
PARA O EXTERIOR - Anno . . 120$000
ANNUNCIOS — Temos á disposição dos interessados uma tabella completa de preços p/ annuncios nesta folha.

Anno I | São Paulo — Sabbado, 12 de Outubro de 1940 | Num. 68

NOTAS E EDITORIAES

Seguiu ante-hontem para o Rio, viajando pelo "Cruzeiro do Sul", o sr. general Mauricio Cardoso, commandante da Segunda Região Militar.

***

"O conceito a que o Instituto Brasileiro de Geographia e Estatistica se impoz nestes poucos annos, já decorridos, de sua existencia, representa uma garantia a mais para que o publico espere os resultados do quinto Recenseamento Geral do Brasil como aquillo que de inicio lhe foi promettido: uma grande e boa colheita de informações quantitativas sobre a vida nacional.

As campanhas anteriormente emprehendidas pelo orgão central dos serviços estatisticos e geographicos do paiz são já hoje uma fiança de que a maior incumbencia que recebeu do poder publico será igualmente levada a bom termo.

O Serviço Nacional de Recenseamento, quando se mostra seguro do exito da operação iniciada no dia 1.° de Setembro, não dá com isso expansão a optimismos faceis. Tem mesmo razões de confiança, quando mais não fosse pelo facto de ter o Censo se tornado uma cogitação sincera e enthusiastica do povo brasileiro, que se constitue assim o fiscal rigoroso e auctorizado dos trabalhos.

Somos já hoje uma nação que se informa, com interesse, dos seus recursos, das condições de sua existencia, dos seus problemas geraes, fazendo um largo consumo das estatisticas divulgadas em numerosas publicações especializadas. Os dados que o Recenseamento fornecerá excederão ao volume de todos aquelles, com a amplitude e a profundidade que só ás operações censitarias podem alcançar.

E, o que é de fundamental importancia, de antemão se pode crer na exactidão de taes informes, porque nisso consistiu tambem uma preoccupação activa e patriotica do publico. Estão a serviço do Recenseamento os recursos da technica e a boa vontade da população". (Communicado do S. N. R.).

***

O "Brasil Asahi" não se responsabiliza pelos conceitos e opiniões emittidos em artigos assignados. Tambem não devolve originaes, mesmo quando não publicados.

O noticiario telegraphico publicado pelo "BRASIL ASAHI" é fornecido pela Agencia Dômei, japoneza.

Instituto Brasileiro de Cultura Japoneza

Homenagem ao casal Ohashi

Dados biographicos dos illustres artistas

O Instituto Brasileiro de Cultura Japoneza, homenageou, ante-hontem, na sua séde, o casal de artistas Riokai Ohashi e D. Helena Pereira da Silva Ohashi. E sa homenagem que consistiu em um "cocktail", offerecido aos artistas, tendo a elle se associado numerosos artistas, escriptores e jornalistas brasileiros, bem como elementos representativos da colonia nipponica da capital da Republica.

Sobre a personalidade dos illustres artistas, o "Correi Paulistano" prestigioso orgam desta capital, escreveu na sua edição de hontem:

"Riokai Ohashi é considerado o melhor discipulo de Saburosuke Okada, a maior auctoridade da pintura a oleo do Japão, fallecido no anno passado. Em 1927, ambos, mestre e discipulo, partiram para França. De 1929 a 1933, Ohashi concorreu ao "Salon d'Automne" de Paris e ao "Salon Independant". Aproveitando a estada em França, visitou, ainda com o mestre, a Italia e os paizes balcanicos. De 1933 até o seu regresso ao Japão, concorreu ao "Salon des Tuileries", aconselhado pelo professor Aman Jean, vice-presidente desse salão.

Em 1933 casou-se com a joven brasileira Helena Pereira da Silva, que, nessa occasião estudava piano e pintura em Paris, e á qual foi apresentada pelo mesmo professor Aman Jean.

Voltando ao Japão, apresentou suas obras em Tokyo, numa exposição que causou enorme successo.

Helena Pereira da Silva Ohashi é filha do professor Oscar Pereira da Silva, o grande artista brasileiro. Em 1911, por iniciativa do governo do Estado de São Paulo, foi a Paris, afim de se aperfeiçoar em pintura. E teve em França até 1915 e estudou na Escola de Bellas Artes de Paris (Academia Julien). Em 1916 voltou a São Paulo e ingressou no 6.° anno do curso de piano do Instituto de Musica, formando-se em 1919. No anno seguinte tornou á França, agora para se aperfeiçoar em musica, pintura e artes industriaes.

Foi discipula de piano do professor Jeloso, do Intituto de Musica de Paris e estudou pintura com o professor Biloul, da Escola de Bellas Artes de Paris.

Em 1925, juntamente com a irmã, alumna do violinista Lucien Capet, realizou um concerto na "Salle Gaveau".

De 1929 a 1933 concorreu ao "Salon des Artistes Français". Por duas vezes, em 1926 e 1932, veiu a S. Paulo, onde expoz seus trabalhos.

Em 1933, tambem por conselho do professor Aman Jean concorreu ao "Salon des Tuileries". Neste mesmo anno, casou-se com o pintor Ohashi e partiu para o Japão. Em 1935, enviou algumas obras para a Exposição de Bellas Artes do Estado de S. Paulo, ganhando o premio "Interventor do Estado". Em 1938, deu um concerto radiophonico, transmittido pela estação de Osaka, em que executou, juntamente com o violinista Kazuichi Endo, a Sonata para violino e piano, de Mozart.

Reside actualmente na cidade de Ashiya, nas vizinhanças de Kobe, onde leciona piano e pintura".

UMA EXPOSIÇÃO

O illustre casal apresentará ao publico do Rio os seus trabalhos em uma exposição que terá lugar, no salão do Palace Hotel, de 11 a 18 do proximo mez de Novembro.

Ministro plenipotenciario australiano em Tokyo

Nova York, 3 (D.) — Segundo telegrammas provenientes de Melbourne, publicados no "New York Times", o governo australiano, no seu ultimo communicado, teria declarado que o pacto nippo-italo-teutonico recentemente firmado não traria nenhuma modificação na sua decisão de enviar um ministro plenipotenciario junto ao governo de Tokyo.

Consta ainda que o sr. Rethan, primeiro ministro daquelle governo teria informado que o atrazo da partida do representante diplomatico foi devido unicamente ás eleições e que dentro de poucos dias seria officialmente determinado o dia de sua partida.

Impressos?

Procure a typographia

NIPPAK-SHA

C. P. 375 — Teleph. 7-3325

O snr. Cordell Hull interrogado sobre varias questões asiaticas

Washington, 8 (D.) — Na entrevista collectiva concedida aos representantes da imprensa, o snr. Hull, interrogado por um jornalista sobre as relações dos Estados Unidos com a Asia, limitou-se a responder apenas o seguinte:

"A preoccupação maxima do governo norte-americano é a paz de seus subditos residentes no extrangeiro.

A recente medida tomada com referencia ao Extremo Oriente, nada mais é do que uma applicação das providencias já muitas vezes empregadas nas zonas de operação bellica.

Foram as seguintes as perguntas e respostas:

Jornalista — Já foi participada a retirada dos norte-americanos ás auctoridades nipponicas?

Snr. Hull — Julgamos que o embaixador Horinouchi já está ao par desta medida, porém, na ultima conferencia apenas versamos superficialmente sobre o caso.

Jornalista — A nova medida abrange tambem as forças estacionarias estadunidenses na China?

Snr. Hull — Essa questão ainda não foi bem estudada nos debates parlamentares.

Jornalista — Propalla-se que ha, em torno do problema asiatico, divergencias entre V. Excia. e o snr. Wells, sub-secretario do governo. Mas será isso verdade?

Snr. Hull — Não, absolutamente.

Será enviada u'a Missão Economia Japoneza á Indo-China Franceza

Tokyo, 5 (D.) — Após prolongadas negociações entre o sr. Henry, ministro plenipotenciario francez acreditado junto ao governo de Tokyo, e o sr. Matsuoka, titular da pasta do Exterior, com o objectivo de tornar mais intensa a cooperação economica da Indo-China Franceza e Japão para a instituição da nova ordem asiatica, foi resolvido enviar uma delegação official, chefiada pelo sr. Matsumiya.

A partida da referida Missão Economica é aguardada para o proximo dia 11, pelo "Arizona Maru".

A reabertura da via Birma

A via Hong-Kong continuará fechada por prazo illimitado

Tokyo, 8 (D.) — No dia 17 de Julho p. p. como resultado das negociações havidas entre o então titular da pasta do exterior, sr. Arita e o embaixador inglez, sr. Craigie, ficára resolvido o fechamento da estrada de Birma pelo espaço de tres mezes. Com isso o transporte de munições, gazolina, vehiculos e materiaes de estrada de ferro, estavam suspensos.

Porem, hontem, o sr. Craigie, visitou o Ministerio do Exterior do Japão e informou officialmente ao ministro do Exterior, sr. Matsuoka — "que o governo inglez não tem intenção de renovar o tratado nippo-britannico, sobre o fechamento da via Birma, convenio que expira dia 17 do mez corrente".

Tal communicação ingleza, acredita-se que tenha sido feita no dia 7, em Londres, ao embaixador japonez, sr. Shiguemitsu.

Todavia, o Japão prevendo a hypothese dessa situação, de ha muito, tomára todas as medidas necessarias. Em vista disso o governo japonez acha que nem é preciso dar uma resposta á Inglaterra. Cumpre notar ainda que no dia 17 de Julho, nas conversações entre o sr. Arita e Craigie, este affirmára, que o governo inglez, já desde 1.° de Janeiro de 1939 havia impedido o transporte de materiaes bellicos atravez de Hong-Kong e accrescentou categoricamente que o fechamento dessa via se prolongaria por prazo illimitado.

Na communicação feita, hontem, por intermedio do sr. Craigie, o governo inglez, refere-se somente á rota de Birma, não havendo, mesma, portanto, nenhuma relação com Hong-Kong.

E agora?

Como em quasi todas as manhans, hontem eu vinha para a Redacção muito dentro de mim mesmo. Com aquelle geito todo meu, que só tem dado para más interpretações. Mas eu estava bem longe de me preoccupar com isso. Pensava, seja-me permittido fazer a lembrança, no nosso mundo mirifico, maravilhosamente lindo, emballado por uma musica suave que vinha de grande distancia, sem perder nenhuma de suas caracteristicas, lá de onde os espiritos estavam unidos, todos em relações brandas. Os paes eram reverenciados e felizes, os filhos afagadores e mimosos. Os noivos noivavam com respeito, os casados se amavam suavemente.

Eu estava ainda na nossa representação, quando elle me falou assim:

"Meu caro M.

"Você conquistou definitivamente o logar de chronista do "Brasil Asahi". Não sou eu quem o diz. E' a voz unanime dos leitores. Ao iniciar a sua actividade neste canto do jornal, Você dizia que JYR iria reassumir o seu posto, logo que voltasse da viagem. Mas, penso que seria ir contra o desejo da maioria e por isso entrego esta secção a Você, para sempre. Desejo muitas felicidades á sua columna. Que os leitores a prestigiem sempre. E que o seu dono M. continue feliz, contandonos, de vez em quando, a poesia da sua alma, tão delicada e sensivel, sobretudo quando falla de sua linda noiva.

"E aqui me despeço da columna e dos bondosos leitores, com um pouco de inveja do meu successor, ao qual se acha reservado um porvir cheio de promessas".

Era a voz de meu bom JYR, ha tanto tempo calado. Passado o espanto do primeiro momento, vi-me na presença consoladoramente agradavel de JYR, com seu bilhete excessivamente repleto de bellas palavras, ás quaes, nem tentarei responder.

Minhalma está transbordante de canticos que não sei cantar, de hosannas ao Senhor. Numa felicidade tal, que não sabe se chorar ou se continuar a cantata da Bondade que ainda existe para o consolo da gente. Para JYR, as bençãos perennes de Deus. — *M.*

88 dias no Extremo Oriente

XXV — **José Yamashiro**

Dairen, 7-5-940.

Os estudantes dairenenses responderam e por sua vez fizeram perguntas sobre o que viramos e o que sentiramos no Japão. Entre as perguntas feitas pelos caravanistas havia uma relativa á campanha da China. Pergunta assaz delicada, que só mesmo o verdadeiro espirito de amizade e comprehensão existente entre estudantes brasileiros e japonezes permittiu fosse feita sem ferir melindres. As perguntas foram, como se vê, francas, destituidas dos atavios diplomaticos, e as respostas, tambem se revestiram do mesmo cunho sincero, sem rodeios nem subterfugios. Foi uma reunião proveitosa para o intercambio de idéas entre os estudantes brasileiros e japonezes. Após o chá que nos foi offerecido, fomos convidados a um passeio pela "Praia da Estrella". Os estudantes japonezes, muito amaveis, nos acompanharam. Palestramos muito, apezar do pequeno espaço de tempo que dispunhamos. Um lindo mar, com ilhotas pittorescas, rochas de formas graciosas embellezando a costa. O Yamato Hotel de Hoshigaura, situado nesta praia, tambem pertence ao S. M. R. como todos os "Yamato" hoteis da Mandchuria. Este de Hoshigaura, que dista 8 kilometros de Dairen, é filial do Yamato Hotel dessa cidade. Hoshigaura, é um excellente logar para veraneio ou pouso.

Ao cahir da tarde, despedimonos dos nossos collegas dairenenses e da "Praia da Estrella", com aquella melancholia d'alma que sempre acompanha o viajante, nas despedidas de logares, por onde passa ás pressas, mas gosta immensamente...

Mukden, 8-5-40.

No programma mimeographado que a direcção da S. M. R. teve a gentileza de nos distribuir, está escripto:

"May, 8 th. wednesday.

Request: Baggages must be ready for transfer to station not later than 8:30 a. m."

Os srs. visconde Inaba, Kanazawa, Kokubo e Yoshida, nossos guias, teem muito cuidado comnosco, tomam todas as providencias necessarias com devida antecedencia. Para que ninguem se esqueça de nada, recommendam a todos que estejam com as bagagens promptas, uma hora antes da partida. A directoria da Caravana, de accordo com aquelles senhores que nos acompanham, sempre pede á gerencia do hotel que accorde os caravanistas a tantas horas. Dormindo pouco, e cansados pelas excursões e passeios seguidos, alguns membros da Caravana precisam ser chamados varias vezes para se pôr de pé. A cama de manhã é muito agradavel... Mas felizmente são todos rapazes de optima saude e disposição. Temos seguido o programma com rigôr. Apezar de sermos um grupo de 22 membros, nunca perdemos o trem... Na hora de sahir do hotel, porém, damos sempre muito trabalho e sobretudo preoccupação aos nossos guias, porque ha caravanistas que se lembram de fazer compras, ir ao barbeiro, comer alguma coisa, á ultima hora. É necessario se diga comtudo que a nossa viagem tem sido tão rapida, tão pouco é o tempo livre, que precisamos aproveitar até os ultimos minutos para comprar lembranças, escrever postaes para amigos do Brasil, e mesmo vêr a cidade. Fazemos tudo ás carreiras. Eu prometti escrever cartas a muitos amigos, mas o maximo que posso fazer é rabiscar tres linhas em postaes, dizendo que cheguei a tal cidade, no dia tanto. Nada mais. E vejo que meus companheiros tambem fazem o mesmo. Aliás é o que se pode humanamente fazer.

* * *

A estação de Dairen é moderna, ampla, com seis plataformas longas. Partimos ás 10 horas, pelo expresso "Hato" (Hato, quer dizer pombo em japonez), com destino a Mukden. O expresso vae até Hsingking, capital do Mandchukuo. Vimos pilhas de madeiras nas proximidades da estação. Talvez tenham vindo das regiões florestaes do norte. O trem é de aço. A estrada de bitola larga. Lembra a nossa Paulista, tanto na solidez do leito da estrada como no aspecto material dos carros de aço. Informam-nos que este expresso corre com velocidade media de 62 kilometros horarios. Continúa a topographia montanhosa, solo arido e secco. A vegetação quando ha é rachitica. Nota-se grande esforço empregado no trabalho de reflorestamento. Chove muito pouco nesta região. Os ribeiros estão quasi seccos. Nos dois lados da linha ferrea existem casas mandchus typicas, cercadas de muros de pedra. Informam-nos os guias que nesta região de Kwantung e no sul do Mandchukuo só as culturas de kaoliang, soja e milho dão resultado. Todos os valles e varzeas estão cultivados. Não vemos nenhuma plantação verde, porque estamos na epoca da sementeira. Terrenos cuidadosamente arados, esmeradamente cuidados, mostram o amôr do camponez mandchú pelo solo que lhes assegura a subsistencia. A terra não parece ser nada bôa. Aliás pessoas que viajam no nosso carro são unanimes em confirmar esta impressão nossa. O trem avança entre montanhas. Algumas arvores. Alamos, na maioria, segundo nos esclarecem os nossos informantes. Estão formando capões populeos em alguns pontos. Macieiras floridas, isoladas, como que a nos lembrar que estamos em plena Primavera. Passamos por Pulantien ás 11,15. É a fronteira de Kwantung com o Imperio Mandchú. O Mandchukuo, ou o Estado Mandchú é constituido de 18 provincias. O nome Mandchuria, conhecido no extrangeiro, é puramente geographico e abrange o territorio de Kwantung. Portanto Mandchukuo e Mandchuria não são synonimos.

Entramos, pois, no Mandchukuo.

Continúa